

ふるさとと共に学び育つ学校

坂井市立高椋小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	3回(のべ) 3日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	50人
授業ボランティア(含:低ボラ)	500人
登下校支援ボランティア	5,500人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「基本的な生活習慣の確立」

具体的活動内容

年度当初に行った生活実態調査をもとに、「生活ふり回りカード」、「ノーテレビ・ノーゲームデー」、「学習習慣アップ作戦」に学校と家庭が協力して取り組んだ。また、その取り組み結果は、その都度、学校便りやホームページ上に紹介した。

(1) 生活実態調査

児童の生活の実態を把握するために、起床時間や朝ご飯、排便、家庭学習時間、テレビやゲーム、読書の時間、就寝時間等12項目にわたる調査を実施した。その結果を通して、家庭学習や読書時間の短さ、テレビやゲーム等の課題が出てきた。

(2) 生活ふり回りカード

各学期始めや長期休業中に、生活ふり回りカードを付けることにより、早寝、早起き、朝ご飯をはじめとする基本的な生活習慣を点検し、身につけさせることをねらいとして実施した。

(3) ノーテレビ・ノーゲームデー

テレビやゲームをしない日を設けることで親子のふれあい、外遊び、読書の機会を増やし、より豊かな生活を送る等の目的で、年に2回(6・7月、11・12月)全校的に実施した。親子で学習時間やテレビの時間、活動の内容を話し合ってから取り組んだ。

(4) 学習習慣アップ作戦

家庭学習の充実のために、「家庭学習の手引き(低・中・高・保)」を配付し、机の前や自主学習ノートに貼ってもらった。保護者には、子どもが集中して学習に取り組みやすいような環境作りをしてもらった。

また、よりよい学習習慣を身に付けるためのチェック表に取り組んだ。これには、保護者のチェック欄も作り、協力を求めた。



地域・学校協議会での報告

成果と課題

- ・学校が全校的に「ノーテレビ・ノーゲームデー」のキャンペーンを張ったことによって、90%以上の家庭で取り組んでいただくことができた。
- ・地域・学校協議会では、さまざまな取り組みが家庭と連携して行われていること、ホームページや学校便りなどで地域に向けても発信されていることがとてもよいと評価された。
- ・次年度も継続して取り組んでいくことで、子どもの基本的な生活習慣をさらに高め、充実させていくことが今後の課題である。

